

平成29年度  
京都府介護支援専門員再研修  
京都府介護支援専門員更新研修実務未経験者研修

# [研修記録シート]

講義研修の初日に提出していただきます。  
記入漏れがないか、確認をお願いいたします。

研修初日には忘れずに持参してください。

【受講者情報】

フリガナ				
氏 名				
受講番号				
研修名	いずれかに ✓してください	<input type="checkbox"/> 京都府介護支援専門員再研修		
		<input type="checkbox"/> 京都府介護支援専門員更新研修実務未経験者		
コース名	講義		演習	

【現況】 いずれかに○印で回答してください

	受講前	直後	3ヶ月後
介護支援専門員として従事している	はい ・ いいえ	はい ・ いいえ	はい ・ いいえ
管理者である	はい ・ いいえ	はい ・ いいえ	はい ・ いいえ



# 研修記録シート（目次）

目 次			ページ	
目次			1	
記入フォーマットの説明			2	
研修記録シート1(目標)			5	
研修記録シート2(評価)			ページ	
科 目				
講 義	①	介護保険制度の理念・現状及びケアマネジメント		6
	②	自立支援のためのケアマネジメントの基本		7
	③	人格の尊重及び権利擁護並びに介護支援専門員の倫理		8
	④	介護支援専門員に求められるマネジメント(チームマネジメント)		9
	⑤	地域包括ケアシステム及び社会資源		10
講 義 と 演 習	⑥	ケアマネジメントに必要な医療との連携及び多職種協働の意義		11
	⑦	ケアマネジメントに係る法令等の理解		12
	⑧-1	ケ ア マ ネ ジ メ ン ト の 展 開	基礎理解	13
	⑧-2		脳血管疾患に関する事例	14
	⑧-3		認知症に関する事例	15
	⑧-4		筋骨格系疾患及び廃用症候群に関する事例	16
	⑧-5		内臓の機能不全(糖尿病, 高血圧, 脂質異常症, 心疾患, 呼吸器疾患, 腎臓病, 肝臓病等)に関する事例	17
	⑧-6		看取りに関する事例	18
	⑨	アセスメント及び居宅サービス計画等作成の総合演習		19

※研修日程と順番が異なる場合がありますので、ご注意ください。

## ■問い合わせ先

公益社団法人京都府介護支援専門員会 事務局 研修係  
 〒604-0874 京都市中京区竹屋町通烏丸東入清水町375 ハートピア京都7階  
 Tel:075-741-7504 Fax:075-254-3971 Email:cm7504@kyotocm.jp

# 研修記録シート（記入フォーマットの説明）

この研修記録シートは「受講前」、「受講直後」、「受講3ヶ月後」に研修の評価をするものです。  
受講にあたり、下記の手順で記録と提出をお願いします。

研修記録シートは、研修受講に際し必ず持参してください。

## (1)シートの種類

このシートは3種類で構成されています。

●シート1(目標)



研修を通して1枚

●シート2(評価)



科目毎に1枚ずつ

●シート3(振り返り)



### ①研修記録シート1(目標)

シート  
1

提出

「受講者」と「管理者」が受講に当たっての目標と評価(効果)を共有するためのシートです。

#### 受講前

受講前に、「受講者」と「管理者」が相談(※注1)して「研修に期待すること」「目標」を記入してください。

#### 受講3ヶ月後

受講3ヶ月後に、「受講者」と「管理者」が目標に対する評価を記入してください。

(※注1)「受講者」と「管理者」が情報を共有しながら記入する項目がありますが、受講者が管理者本人、または、介護支援専門員として実務に就いていない等の場合、受講者のみで決めてください。

#### 研修記録シート1(目標)

研修記録シート1(目標)は、研修受講前に「受講者」と「管理者」が受講に当たっての目標を共有するためのものです。研修に期待すること、目標、成果等を記入してください。

研修名 京都府介護支援専門員再研修・更新研修実務未経験者

日程  ～  氏名   
介護支援専門員  
登録番号

##### 1. 受講前

受講者記入欄：受講目標(研修後どのような行動ができるようになりたいか)を記載してください。

入力日

管理者記入欄：受講者に研修で学んでほしいこと・期待することを記載してください。

記入者氏名  所属先   
入力日  役職

実務に就いていない

※管理者記入欄は、受講者が管理者本人、または、実務に就いていない場合は、その旨を記入してください。

受講者が管理者本人の場合、「本人が管理者である」と記入してください。

受講者が介護支援専門員として実務に就いていない場合、「実務に就いていない」と記入してください。

講義研修の初日に提出していただきます。  
記入漏れがないか、確認をお願いいたします。  
研修初日には忘れずに持参してください。

## ②研修記録シート2(評価)

シート  
2

提出

「受講者」が研修の「受講前」「受講直後」「受講3ヶ月後」に記入し、自己評価をするためのシートです。科目毎にシートがあり、学ぶ内容に沿って自己評価を記入します。

**受講前** 各項目について、受講前の段階の自己評価を記入してください。

**受講直後** 受講直後の自己評価を記入してください。

**受講3ヶ月後** 受講3ヶ月後を目途に、実践で活用した際の自己評価を記入してください。

自己評価は、(4)できる、(3)概ねできる、(2)ほとんどできない、(1)全くできないの4段階評価とし、数字を記入してください。

受講直後、受講3ヶ月後の評価で、(2)ほとんどできない、(1)全くできない、に該当した科目については備考欄に管理者と相談(※注1)し、対応策を記入してください。

記入がない場合や内容に不備がある場合は修了を認めず、当該科目については再受講が必要となる場合があります。

(※注1)受講者が管理者本人、または、介護支援専門員として実務に就いていない等の場合、受講者のみが記入したのも可とします。

**研修記録シート2(評価)**

この評価シートは、科目の受講前後で各自の理解度を把握し、受講中の学習効果の向上と、受講後の学習のポイントを重点化し、継続的な資質向上に役立てるものです。本科目を学習した時点で感じた事を書き留め、今後の学習方針や課題への取り組みを考える際に見返してみよう。

研修名: 京都府介護支援専門員再研修・更新研修実務未経験者  
科目名: ①介護保険制度の理念・現状及びケアマネジメント

受講日  開始時間  氏名   
会場名  介護支援専門員登録番号

項目	受講前	受講直後	実践評価 (3ヶ月後)	備考
記入日(入力日)				
① 介護保険制度の創設の背景や基本理念について説明できる				
② ケアマネジメントの導入の意義と介護支援専門員の役割について説明できる				
③ 地域包括ケアシステムが求められる背景や基本理念について説明できる				

※受講日、開始時間、会場名について

受講前は、記入不要です。  
受講直後には必ず記入してください。

※受講3ヶ月後に受講者が実務に就いていない場合、

②研修記録シート2(評価)  
実践評価(3ヶ月後)欄は「実践で活用した際の自己評価」となりますので(1)を記入してください。  
対応策の記入は不要です。  
表紙の【現況】欄は、忘れずに記入してください。

## ③研修記録シート3(振り返り)

シート  
3

提出不要

「受講者」が科目の学習時に感じた事を書き留め、今後の学習方針や取り組みの検討時に見返すためのシートです。科目毎にシートがあり、修了後も関連した内容を書き留め、記録しておきます。

**受講直後** 受講直後から継続して記入します。理解したこと、出来なかったこと、主観的・感情的な記述(嬉しかったこと、腑に落ちたこと、講師の話し方など感情的な内容)も重要なので記入します。

## (2)提出方法

①受講前	
<p>記入箇所 ①表紙 【受講者情報】、【現況】            ②研修記録シート1(目標) 1.受講前            ③研修記録シート2(評価) 受講前 全14科目</p> <p>提出日 講義研修初日</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 80px; margin: 0 auto;">             研修会場で 提出           </div>
②受講直後	
<p>記入箇所 ①表紙 【現況】            ②研修記録シート2(評価) 受講直後 全14科目</p> <p>提出日 研修当日</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 80px; margin: 0 auto;">             研修会場で 提出           </div>
③実践評価(3ヶ月後程度)	
<p>記入箇所 ①表紙 【現況】            ②研修記録シート1(目標) 2.実践評価(3ヶ月後程度)            ③研修記録シート2(評価) 実践評価(3ヶ月後) 全14科目</p> <p>提出期日: 演習研修最終日のオリエンテーションで連絡            記入した①表紙、②研修記録シート1(目標)～③研修記録シート2(評価)①～⑨(表紙+P5～19)をコピーして、            番号順に並べ左上を留めて送付。原本は必ずご自身で保管しておいてください。  <b>介護支援専門員として実務に就いていない等の場合も提出は必要です。</b></p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 80px; margin: 0 auto;">             コピーを 郵 送           </div>

提出先: 公益社団法人京都府介護支援専門員会 事務局

提出用封筒

【表面】

〒604-0874  
 京都市中京区竹屋町通烏丸東入清水町375  
 ハートピア京都7階

公益社団法人京都府介護支援専門員会 事務局  
 <再研修>または<実務未経験者研修>  
 研修記録シート 係

【裏面】 差出人情報を記入してください

自宅住所	
氏 名	

# 研修記録シート1(目標)

研修記録シート1(目標)は、研修受講前に「受講者」と「管理者」が受講に当たっての目標を共有するためのものです。研修に期待すること、目標、成果等を記入してください。

研修名: 京都府介護支援専門員再研修・更新研修実務未経験者

日程  ～  氏名   
介護支援専門員登録番号

## 1. 受講前

受講者記入欄: 受講目標(研修後にどのような行動ができるようになりたいか)を記入してください。

入力日

管理者記入欄: 受講者に研修で学んでほしいこと・期待することを記入してください。

記入者氏名

所属先

入力日

役職

## 2. 実践評価(3ヶ月後程度)

受講者記入欄: 受講成果(目標の達成と実践への活用の状況)の自己評価を記入してください。

入力日

管理者記入欄: 受講成果(受講者の目標の達成と実践への活用状況)を記入してください。

記入者氏名

所属先

入力日

役職

※1.受講前「受講目標」は受講者と管理者で相談して決めてください。受講者が管理者本人、または、実務に就いていない等の場合、受講者のみで決めてください。

※2.実践評価(3ヶ月後程度)の欄は、介護支援専門員として実務に就いていない方は、未就労である旨を記載の上ご提出いただき、就労後にご活用ください。

※管理者記入欄は、受講者が管理者本人、または、実務に就いていない場合は、その旨を記入してください。

## 研修記録シート2(評価)

この評価シートは、科目の受講前後で各自の理解度を把握し、受講中の学習効果の向上と、受講後の学習のポイントを焦点化し、継続的な資質向上に役立てるものです。本科目を学習した時点で感じた事を書き留め、今後の学習方針や課題への取り組みを考える際に見返してみましょう。

研修名：京都府介護支援専門員再研修・更新研修実務未経験者

科目名：①介護保険制度の理念・現状及びケアマネジメント

受講日

開始時間

氏名

会場名

介護支援  
専門員  
登録番号

項 目		受講前	受講直後	実践評価 (3ヶ月後)	備 考
記入日(入力日)					
①	介護保険制度の創設の背景や基本理念について説明できる				
②	ケアマネジメントの導入の意義と介護支援専門員の役割について説明できる。				
③	地域包括ケアシステムが求められる背景や基本理念について説明できる。				
④	自らの地域の地域包括ケアシステムの現状を把握する方法を述べることができる。				
⑤	介護サービスの利用手続き(要介護認定等に関する基本的な視点と概要)を述べることができる。				
⑥	居宅サービス計画等の重要性を述べることができる。				
⑦	保険給付及び給付管理等の仕組みを述べることができる。				
⑧	継続学習の必要性と、具体的な学習方法を述べることができる。				

※研修は自己評価とし、4段階評価で、数字が大きいほど高評価、数字が小さいほど低評価として記入してください。  
【選択肢】 4. できる 3. 概ねできる 2. ほとんどできない 1. 全くできない



## 研修記録シート2(評価)

この評価シートは、科目の受講前後で各自の理解度を把握し、受講中の学習効果の向上と、受講後の学習のポイントを焦点化し、継続的な資質向上に役立てるものです。本科目を学習した時点で感じた事を書き留め、今後の学習方針や課題への取り組みを考える際に見返してみましょう。

研修名：京都府介護支援専門員再研修・更新研修実務未経験者

科目名：②自立支援のためのケアマネジメントの基本

受講日

開始時間

氏名

会場名

介護支援  
専門員  
登録番号

項 目		受講前	受講直後	実践評価 (3ヶ月後)	備 考
記入日(入力日)					
①	中立・公平なケアマネジメントの重要性について説明できる。				
②	運営基準に遵守したケアマネジメントの重要性を説明できる。				
③	利用者本位の選択を支えるケアマネジメントの意義を説明できる				
④	利用者の権利を尊重したケアマネジメントの重要性について説明できる。				
⑤	社会資源を活用したケアマネジメントの必要性について説明できる。				
⑥	利用者の能力に応じたケアマネジメントの重要性について説明できる。				
⑦	家族に対する支援の重要性について説明できる。				
⑧	介護予防ケアマネジメントの考え方について説明できる。				

※研修は自己評価とし、4段階評価で、数字が大きいほど高評価、数字が小さいほど低評価として記入してください。  
【選択肢】 4. できる 3. 概ねできる 2. ほとんどできない 1. 全くできない

## 研修記録シート2(評価)

この評価シートは、科目の受講前後で各自の理解度を把握し、受講中の学習効果の向上と、受講後の学習のポイントを焦点化し、継続的な資質向上に役立てるものです。本科目を学習した時点で感じた事を書き留め、今後の学習方針や課題への取り組みを考える際に見返してみましょう。

研修名：京都府介護支援専門員再研修・更新研修実務未経験者

科目名：③人格の尊重及び権利擁護並びに介護支援専門員の倫理

受講日

開始時間

氏名

会場名

介護支援  
専門員  
登録番号

項 目		受講前	受講直後	実践評価 (3ヶ月後)	備 考
記入日(入力日)					
①	人権と尊厳を支える専門職として求められる姿勢について説明できる。				
②	守秘義務を順守した、ケアマネジメントの意義・重要性について説明ができる。				
③	日常業務において起こり得る倫理的課題に対し向き合うことの重要性について説明できる。				
④	利用者の生活を守るための制度の内容や利用方法について説明できる。				
⑤	人権等を踏まえ、利用者本位のケアマネジメントの重要性について説明できる。				
⑥	チームケアを行う際の倫理の必要性を判断できる。				
⑦	介護保険制度で求められる利用者のニーズの代弁機能の意義について説明できる。				

※研修は自己評価とし、4段階評価で、数字が大きいほど高評価、数字が小さいほど低評価として記入してください。  
【選択肢】 4. できる 3. 概ねできる 2. ほとんどできない 1. 全くできない

## 研修記録シート2(評価)

この評価シートは、科目の受講前後で各自の理解度を把握し、受講中の学習効果の向上と、受講後の学習のポイントを焦点化し、継続的な資質向上に役立てるものです。本科目を学習した時点で感じた事を書き留め、今後の学習方針や課題への取り組みを考える際に見返してみましょう。

研修名：京都府介護支援専門員再研修・更新研修実務未経験者

科目名：④介護支援専門員に求められるマネジメント(チームマネジメント)

受講日

開始時間

氏名

会場名

介護支援  
専門員  
登録番号

項 目		受講前	受講直後	実践評価 (3ヶ月後)	備 考
記入日(入力日)					
①	利用者及び家族の支援に際し、チームアプローチの意義と目的について説明できる。				
②	チームを構成する各専門性についての役割について説明できる。				
③	チームにおける介護支援専門員の役割について説明できる。				
④	アセスメントに基づく必要なチームの形成を実施できる。				
⑤	チームにおける情報共有を実施できる。				
⑥	円滑なチーム運営を実施できる。				

※研修は自己評価とし、4段階評価で、数字が大きいほど高評価、数字が小さいほど低評価として記入してください。  
【選択肢】 4. できる 3. 概ねできる 2. ほとんどできない 1. 全くできない

## 研修記録シート2(評価)

この評価シートは、科目の受講前後で各自の理解度を把握し、受講中の学習効果の向上と、受講後の学習のポイントを焦点化し、継続的な資質向上に役立てるものです。本科目を学習した時点で感じた事を書き留め、今後の学習方針や課題への取り組みを考える際に見返してみましょう。

研修名：京都府介護支援専門員再研修・更新研修実務未経験者

科目名：⑤地域包括ケアシステム及び社会資源

受講日

開始時間

氏名

会場名

介護支援  
専門員  
登録番号

項 目		受講前	受講直後	実践評価 (3ヶ月後)	備 考
記入日(入力日)					
①	地域包括ケアが求められる背景について説明できる。				
②	地域包括ケアの目的と意義について説明できる。				
③	利用者の地域の社会資源の調査を実施できる。				
④	地域包括ケアにおける介護支援専門員の役割について説明できる。				
⑤	地域の現状、課題、目指す方向性、社会資源の整備状況等を述べる事ができる。				

※研修は自己評価とし、4段階評価で、数字が大きいほど高評価、数字が小さいほど低評価として記入してください。

【選択肢】 4. できる 3. 概ねできる 2. ほとんどできない 1. 全くできない

## 研修記録シート2(評価)

この評価シートは、科目の受講前後で各自の理解度を把握し、受講中の学習効果の向上と、受講後の学習のポイントを焦点化し、継続的な資質向上に役立てるものです。本科目を学習した時点で感じた事を書き留め、今後の学習方針や課題への取り組みを考える際に見返してみましょう。

研修名：京都府介護支援専門員再研修・更新研修実務未経験者

科目名：⑥ケアマネジメントに必要な医療との連携及び多職種協働の意義

受講日

開始時間

氏名

会場名

介護支援  
専門員  
登録番号

項 目		受講前	受講直後	実践評価 (3ヶ月後)	備 考
記入日(入力日)					
①	医療との連携の意義と目的について説明できる。				
②	医療機関や医療職からの情報収集及び提供の方法及び内容について説明できる。				
③	地域の在宅医療・介護の連携を促進する仕組みについて説明できる。				
④	多職種協働の意義について説明できる。				
⑤	多職種間で情報を共有することの重要性について説明できる。				
⑥	多職種協働における個人情報を取り扱う上での利用者のその家族の同意の必要性について説明できる。				

※研修は自己評価とし、4段階評価で、数字が大きいほど高評価、数字が小さいほど低評価として記入してください。  
【選択肢】 4. できる 3. 概ねできる 2. ほとんどできない 1. 全くできない

## 研修記録シート2(評価)

この評価シートは、科目の受講前後で各自の理解度を把握し、受講中の学習効果の向上と、受講後の学習のポイントを焦点化し、継続的な資質向上に役立てるものです。本科目を学習した時点で感じた事を書き留め、今後の学習方針や課題への取り組みを考える際に見返してみましょう。

研修名：京都府介護支援専門員再研修・更新研修実務未経験者

科目名：⑦ケアマネジメントに係る法令等の理解

受講日

開始時間

氏名

会場名

介護支援  
専門員  
登録番号

項 目		受講前	受講直後	実践評価 (3ヶ月後)	備 考
記入日(入力日)					
①	介護保険法の意義と目的について説明できる。				
②	介護保険法に遵守したケアマネジメントを実施できる。				
③	利用者を取り巻く諸制度について説明できる。				
④	実践上の法令遵守について説明できる。				
⑤	介護報酬に係る関係告示や通知等の概要について説明できる。				

※研修は自己評価とし、4段階評価で、数字が大きいほど高評価、数字が小さいほど低評価として記入してください。  
【選択肢】 4. できる 3. 概ねできる 2. ほとんどできない 1. 全くできない

## 研修記録シート2(評価)

この評価シートは、科目の受講前後で各自の理解度を把握し、受講中の学習効果の向上と、受講後の学習のポイントを焦点化し、継続的な資質向上に役立てるものです。本科目を学習した時点で感じた事を書き留め、今後の学習方針や課題への取り組みを考える際に見返してみましょう。

研修名：京都府介護支援専門員再研修・更新研修実務未経験者

科目名：⑧-1ケアマネジメントの展開「基礎理解」

受講日

開始時間

氏名

会場名

介護支援  
専門員  
登録番号

項 目		受講前	受講直後	実践評価 (3ヶ月後)	備 考
記入日(入力日)					
①	ケアマネジメントを必要とする高齢者を取り巻く背景や特性について説明できる。				
②	高齢者に見られる生理、心理、生活環境等の関係性について説明できる。				
③	居宅サービス計画作成のためのプロセスに沿って、支援にあたってのポイントについて説明できる。				
④	高齢者の自己決定を尊重したケアマネジメントを実施できる。				
⑤	高齢者に多い代表的な疾患や症候群別ケアマネジメントを学ぶことの有効性について説明できる。				

※研修は自己評価とし、4段階評価で、数字が大きいほど高評価、数字が小さいほど低評価として記入してください。  
【選択肢】 4. できる 3. 概ねできる 2. ほとんどできない 1. 全くできない

## 研修記録シート2(評価)

この評価シートは、科目の受講前後で各自の理解度を把握し、受講中の学習効果の向上と、受講後の学習のポイントを焦点化し、継続的な資質向上に役立てるものです。本科目を学習した時点で感じた事を書き留め、今後の学習方針や課題への取り組みを考える際に見返してみましょう。

研修名：京都府介護支援専門員再研修・更新研修実務未経験者

科目名：⑧-2ケアマネジメントの展開「脳血管疾患に関する事例」

受講日

開始時間

氏名

会場名

介護支援  
専門員  
登録番号

項 目		受講前	受講直後	実践評価 (3ヶ月後)	備 考
記入日(入力日)					
①	脳血管障害の特徴について説明できる。				
②	脳血管障害における生活障害の特徴について説明できる。				
③	脳血管障害における療養上の留意点や起こりやすい課題について説明できる。				
④	脳血管障害における環境の調整(福祉用具・住宅改修を含む)の必要性について説明できる。				
⑤	脳血管障害におけるリハビリテーションの必要性について説明できる。				
⑥	医療職をはじめとする多職種との連携・協働のポイントについて説明できる。				
⑦	脳血管障害の特性に応じたケアマネジメントの具体的な方法を実施できる。				
⑧	継続学習の必要性と、具体的な学習方法を述べることができる。				

※研修は自己評価とし、4段階評価で、数字が大きいほど高評価、数字が小さいほど低評価として記入してください。  
【選択肢】 4. できる 3. 概ねできる 2. ほとんどできない 1. 全くできない



## 研修記録シート2(評価)

この評価シートは、科目の受講前後で各自の理解度を把握し、受講中の学習効果の向上と、受講後の学習のポイントを焦点化し、継続的な資質向上に役立てるものです。本科目を学習した時点で感じた事を書き留め、今後の学習方針や課題への取り組みを考える際に見返してみましょう。

研修名：京都府介護支援専門員再研修・更新研修実務未経験者

科目名：⑧-3ケアマネジメントの展開「認知症に関する事例」

受講日

開始時間

氏名

会場名

介護支援  
専門員  
登録番号

項 目		受講前	受講直後	実践評価 (3ヶ月後)	備 考
記入日(入力日)					
①	4つの代表的な認知症について、その特徴とケアのポイントを述べるができる。				
②	認知症における療養上の留意点・倫理的な対応及び、起こりやすい課題について説明できる。				
③	独居で認知症の要介護者等におけるアプローチの視点や方法について説明できる。				
④	認知症の要介護者と同居している家族に対する支援や地域への配慮と協働の必要性について説明できる。				
⑤	認知症ケアの考え方にに基づき、ケアマネジメントへの展開方法のポイント(倫理的な対応、医療職をはじめとする多職種連携、行動・心理症状(BPSD)、環境調整へのアプローチ等について説明できる。				
⑥	認知症の特性に応じたポイントを踏まえてケアマネジメントプロセスを実施できる。				
⑦	継続学習の必要性と、具体的な学習方法を述べるができる。				

※研修は自己評価とし、4段階評価で、数字が大きいほど高評価、数字が小さいほど低評価として記入してください。  
【選択肢】 4. できる 3. 概ねできる 2. ほとんどできない 1. 全くできない

## 研修記録シート2(評価)

この評価シートは、科目の受講前後で各自の理解度を把握し、受講中の学習効果の向上と、受講後の学習のポイントを焦点化し、継続的な資質向上に役立てるものです。本科目を学習した時点で感じた事を書き留め、今後の学習方針や課題への取り組みを考える際に見返してみましょう。

研修名：京都府介護支援専門員再研修・更新研修実務未経験者

科目名：⑧-4ケアマネジメントの展開「筋骨格系疾患及び廃用症候群に関する事例」

受講日

開始時間

氏名

会場名

介護支援  
専門員  
登録番号

項 目		受講前	受講直後	実践評価 (3ヶ月後)	備 考
記入日(入力日)					
①	筋骨格系の疾患の種類、原因、症状、生活をする上での障害及び予防・改善方法や特徴について説明できる。				
②	廃用症候群の原因、生活をする上での障害及び予防・改善方法について説明できる。				
③	筋骨格系疾患や廃用症候群の予防や改善方法について説明できる。				
④	筋骨格系疾患や廃用症候群における療養上の留意点について説明できる。				
⑤	筋骨格系疾患や廃用症候群におけるリハビリテーションや福祉用具、住宅改修の効果的な活用方法について説明できる。				
⑥	筋骨格系疾患や廃用症候群の特性に応じたケアマネジメントの具体的な方法を実施できる。				
⑦	継続学習の必要性と、具体的な学習方法を述べることができる。				

※研修は自己評価とし、4段階評価で、数字が大きいほど高評価、数字が小さいほど低評価として記入してください。  
【選択肢】 4. できる 3. 概ねできる 2. ほとんどできない 1. 全くできない

## 研修記録シート2(評価)

この評価シートは、科目の受講前後で各自の理解度を把握し、受講中の学習効果の向上と、受講後の学習のポイントを焦点化し、継続的な資質向上に役立てるものです。本科目を学習した時点で感じた事を書き留め、今後の学習方針や課題への取り組みを考える際に見返してみましょう。

研修名：京都府介護支援専門員再研修・更新研修実務未経験者

科目名：⑧-5ケアマネジメントの展開「内臓の機能不全(糖尿病, 高血圧, 脂質異常症, 心疾患, 呼吸器疾患, 腎臓病, 肝臓病等)に関する事例」

受講日

開始時間

氏名

会場名

介護支援  
専門員  
登録番号

項 目		受講前	受講直後	実践評価 (3ヶ月後)	備 考
記入日(入力日)					
①	内臓の機能不全に係る各疾患・症候群(糖尿病, 高血圧, 脂質異常症, 心疾患, 呼吸器疾患, 腎臓病, 肝臓病)の種類, 原因, 症状について説明できる。				
②	内臓の機能不全等の生活をする上での障害及び予防・改善方法について説明できる。				
③	内臓の機能不全等における療養上の留意点について説明できる。				
④	内臓の機能不全等における生活習慣を改善するための方法について説明できる。				
⑤	内臓の機能不全等の特性に応じたケアマネジメントの具体的な方法を実施できる。				
⑥	継続学習の必要性と, 具体的な学習方法を述べることができる。				

※研修は自己評価とし、4段階評価で、数字が大きいほど高評価、数字が小さいほど低評価として記入してください。  
【選択肢】 4. できる 3. 概ねできる 2. ほとんどできない 1. 全くできない

## 研修記録シート2(評価)

この評価シートは、科目の受講前後で各自の理解度を把握し、受講中の学習効果の向上と、受講後の学習のポイントを焦点化し、継続的な資質向上に役立てるものです。本科目を学習した時点で感じた事を書き留め、今後の学習方針や課題への取り組みを考える際に見返してみましょう。

研修名：京都府介護支援専門員再研修・更新研修実務未経験者

科目名：⑧-6ケアマネジメントの展開「看取りに関する事例」

受講日

開始時間

氏名

会場名

介護支援  
専門員  
登録番号

項 目		受講前	受講直後	実践評価 (3ヶ月後)	備 考
記入日(入力日)					
①	看取りにおける介護支援専門員の役割や適切な姿勢について説明できる。				
②	看取りに関する各種サービス等の活用方法や、医療職をはじめとする多職種との連携・協働を効果的に行うためのポイントについて説明できる。				
③	看取りに向けた利用者及び家族との段階的な関わりの変化について説明できる。				
④	看取りのケースにおいて、在宅生活の支援において起こりやすい課題について説明できる。				
⑤	看取りの特性に応じたケアマネジメントの具体的な方法を実施できる。				
⑥	継続学習の必要性と、具体的な学習方法を述べることができる。				

※研修は自己評価とし、4段階評価で、数字が大きいほど高評価、数字が小さいほど低評価として記入してください。

【選択肢】 4. できる 3. 概ねできる 2. ほとんどできない 1. 全くできない

## 研修記録シート2(評価)

この評価シートは、科目の受講前後で各自の理解度を把握し、受講中の学習効果の向上と、受講後の学習のポイントを焦点化し、継続的な資質向上に役立てるものです。本科目を学習した時点で感じた事を書き留め、今後の学習方針や課題への取り組みを考える際に見返してみましょう。

研修名：京都府介護支援専門員再研修・更新研修実務未経験者

科目名：⑨アセスメント及び居宅サービス計画等作成の総合演習

受講日

開始時間

氏名

会場名

介護支援  
専門員  
登録番号

項 目		受講前	受講直後	実践評価 (3ヶ月後)	備 考
記入日(入力日)					
①	事例に応じたケアマネジメントについて説明できる。				
②	ケアマネジメントプロセスごとの課題について説明できる。				
③	講評を受け、今後の自己課題の設定を実施できる。				
④	自己の課題に応じた解決策について説明できる。				
⑤	事例を基にサービス担当者会議、モニタリング場面等を模擬的に実施できる。				

※研修は自己評価とし、4段階評価で、数字が大きいほど高評価、数字が小さいほど低評価として記入してください。  
【選択肢】 4. できる 3. 概ねできる 2. ほとんどできない 1. 全くできない